

さかわようちえんだより

～1 学期号～

(クラスだより合併号)

さ:最後までがんばる子 か:感じる心をもった子
わ:わくわくしながらチャレンジする子

令和3年7月20日
小田原市立酒匂幼稚園
園長 向笠 弘子

大切そうに握られた子どもの手の中にセミの抜け殻が見られるようになりました。本格的な夏の訪れを感じます。園庭での始業式・入園式で始まった第1学期。昨年度の年長さんから引き継いだことを自分たちの力でやり遂げていく頼もしいほし組さん。そして、その姿を興味深げに見て、いつの間にか一緒に活動しているさくら組さん。そのようなことを繰り返し、年長さんは自分なりに『こうしたい!』という思いを実現するために試行錯誤し、年少さんは、『これをやりたい!』という思いを実行に移すようになってきました。保護者や地域の皆様のおかげで、コロナ禍でありながらも、子どもたちが自分のやりたい遊びに取り組み、充実した毎日を送ることができました。ありがとうございました。

夏休みも、感染対策をしながらの日々になります。特別な事情の中だからこそ経験できることや変えられることもあると思います。ピンチはチャンスです。お子さんと一緒に、夏休みを楽しんでください。

大きくなあれ!

今年度酒匂幼稚園で目指していく子ども像は、『健やかな心と体の子』『考えたことを実行する子』『助け合う子』です。

健やかな心と体の子

遊びを楽しむ中で、体を動かす気持ちよさを感じる姿がたくさん見られました。それと共に、休息することや、汗を拭くこと、水分補給など、健康な生活のために必要なことを知ったり、自分から行動し始めるようになってきました。



友達と鬼ごっこ

自分で作ったステッキを持ってダンス



考えたことを実行する子

「どうしたらできるかな?」と、問いをもちながら遊んでいました。思うようにならずに「明日にしよう」と、諦める日もありましたが、友達の様子を見て気付いたり他の遊びでの発見を生かしたりしながら、繰り返し挑戦していました。



水、流れるかな?

どうしたらゴールまで転がる?



助け合う子

友達と関わる中で、思いが通らなくて悔しかったり、気持ちが合っていて嬉しかったり等、いろいろな感情を体験しました。そうすることで、次第に思いを共有し、同じような目的をもって活動するようになったりします。助け合うことにつながる心が培われています。



友達と意見が合わなくて思いを伝え合うことも、助け合う心を育むことにつながっています。

友達を気遣う気持ちがあってこそ中学から幼稚園まで運べた笹竹。





7月に入ってから雨の日が続き、園庭でのプール遊びはあまりできませんでしたが、バケツやジョウロで砂場にたくさんの水を運んで貯めたり、絵の具遊びから色水遊びになったり、雨上がりの水たまりで遊んだり、水に触れる心地よさや感触を様々な方法で楽しみました。先週月曜日は晴れてプール遊びを満喫しました。

病気療養のため担任が代わったこともすんなりと受け入れ、回復を願いながら交代した担任の話を健気に聞いて行動しようとする子どもたちに感謝しています。



ゆうぐこでそうじ

これまでたくさん使ってきた道具を洗ったり、中をほうきで掃いたり、きれいに掃除をしました。2学期にまた気持ちよく使えそうです。掃除中、散歩に出かけるほしぐみさんに「ありがとう」と声をかけられると、ぐんとやる気を増していました。

バス作り～バスごっこ

四角い枠の中に入って運転士になれるバスづくりに何人もの子が興味をもって取り組みました。その後、バス停を作り、お客さんを誘っていろいろな所に連れて行くバスごっこが続きしました。使っているうちに壊れても、自分が作ったものなので修理することができます。接着の仕方など大人が手伝うと丈夫なものになりますが、失敗をしても子どもたちが自分で考え試すことを大切にしてきました。その経験はほかの場面で生きていくことと思っています。みんなでバス停まで行って見学した後は見たことを活かした活動が見られました。



弁当準備～片付け

感染症予防で密を避けるため、弁當時にはたくさんの机を運ばなければなりません。6月には運びながら他の机とぶつかりそうになったり、並べる位置がわからずに教師に教えてもらったりしていましたが、自分たちで考え安全に気をつけながら準備片付けをすることができるようになってきました。経験を重ねることで子供たちが身に付けることの多さに感心します。



話を聞く習慣

お話大好きなさくら組の子どもたちは、いつもたくさんのことを聞かせてくれます。しかし、人の話を聞かずに喋りだしてしまうことがあり、みんなで集まった場面では“聞く時”があることをくり返し教えました。今では、必要な場面ではみんなで聞こうとすることもできるようになってきました。年長になっても学校に行っても大切になる聞くことが自然にできるように日々の生活の経験を大切にしたいと思います。





パーティだいすき！ いつでもぜんりょく！ ねっけつ☆ほしぐみ☆



7月の遊び

交通安全教室



6日の交通安全教室では、横断歩道の渡り方を教わり、車が来ていないか『止まって手を挙げ、右見る・左見る・後ろ見る・右見る・渡る』の確認をパネルシアターと実演で行いました。今回教わったことを活かして、園外散歩でも実践していきたいと思います。



たなばたパーティ



6/25(金)に酒匂中学校に取りに行った笹に飾り付けをし、たなばたパーティをみんなで考えました。「ダンスパーティがいいなあ」「演奏したい！」「年少さんと遊びたい！」「おはなしをやってみせたいなあ」と次々にやりたいことが出てきて、歌にダンスに演奏、おはなし、たかおにと盛りだくさんの七夕パーティになりました。みんなの楽しそうな声につられて、なんと！織姫が通ってくれ、「え？だれ？まさか…！」と驚きの声が遊戯室に広がりました。パーティの企画の時に「織姫もパーティ来ないかなあ」「彦星と逢わせてあげたいなあ」と話していたことが織姫にも伝わったようで、大喜びでした。

また、子どもたちが飾った笹竹を酒匂中学校に届けました。大好評で先生たちが短冊を書いて玄関に飾って下さいました。酒匂中学校は松ぼっくりもたくさん落ちているので、また遊びにいききたいなあと思います。



年少さんに笹
のおすそ分け♡

中学からみんな
で力を合わせて
笹を運びました！



ジャガイモ・タマネギスタンプ

自分たちで植えて育てて収穫して食べたジャガイモ・タマネギを今度はスタンプにしました。ジャガイモに模様や顔をつけてスタンプしたりタマネギのグルグルを活用してお花や花火に見立ててスタンプしたりしました。ただスタンプを押すだけでなく、形を組み合わせることや乾かしてから絵を描くことを想定しながら押していて、今までの経験や創造力を膨らませることができるようになったんだなあと思成長を感じています。



英語で遊ぼう

16日の英語で遊ぼうはスクボラの方に来ていただき、自分の名前の伝え方、体の名前、色などをゲームや音楽に合わせて楽しく教えてもらいました。

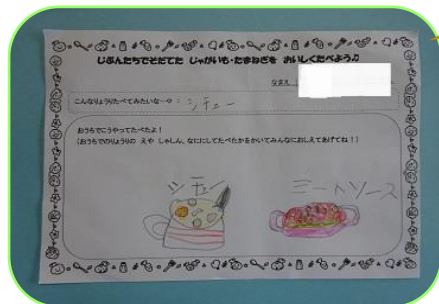


保護者の皆様には第1学期、ご理解、ご協力頂き感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。夏休みにしかできない経験を積んで幼稚園でまた、たくさん発揮して元気いっぱい遊ぶことを楽しみにしています。第2学期も宜しくお願いします。

保護者や地域の方とのつながり

コロナ禍でも、子どもたちがやり方を考え、地域の方と交流をしたり、園と家庭がつながるよう活動を工夫したりしてくれました。そのことによって、今までにはない心のつながりが生まれる交流となりました。

家庭とつながる



子どもの笑顔が見えるような「おいしくたべよう」カード

ほし組さんがさくら組さんにプレゼントしてくれた笹竹
さくら組さんが願いを込めて飾り付け
みんなのねがいが叶いますように☆



ほし組さんが大切に育てたジャガイモとタマネギは、子どもたちが相談をして家に持ち帰ってお料理をすることになりました。持ち帰った野菜は、子どもたちがおうちの方にリクエストして大好きなメニューに変身！その様子が子どもたちの笑顔が見えるような「おいしくたべよう」カードになって園に戻ってきました。酒匂中学からいただいた沢山の笹竹も、家で七夕飾りを作りたい人のためにほし組さんが「ごじゅうにおとりください」と書いた箱に入れて置いてくれました。家庭で七夕飾りを楽しんだ様子が、園に戻ってきました。保護者の方が、お子さんの話に耳を傾けてくださり、思いに寄り添ってくださることで、豊かな心が育まれています。ありがとうございます。

地域とつながる



「鈴木さん。
タマネギ大丈夫？」

若葉の皆さんから、ジャガイモや手作りおもちゃ・お花のお礼

栽培活動でお世話になっているJAさんにもジャガイモをプレゼント



幼稚園の畑「そだてやさん」で栽培をしていく中で、子どもたちから「いつ取ったらいいの？」「元気ないみたい」など、様々な疑問や心配事が出てきます。それを解決に導いてくださるのが、畑の先生鈴木英雄さんです。鈴木さんが来園されると、「鈴木さん、こっち来て！」と、栽培物のところへ案内し、質問をしてその答えを友達と共有して、友達と一緒に考え世話をするということを繰り返し収穫の日を迎えます。そのような野菜だからこそ、自分たちだけでなくお世話になった方や交流ができない場所などへ収穫の喜びのおすそ分けをする子どもたちの姿があります。地域の方の、『子どもたちのために！』という思いに囲まれて、優しさが育まれています。地域とのつながりに感謝いたします。

夏休みに向けて



コロナ禍の中、入園した子どもたちの様子で驚いたことがありました。手を洗うのがとても上手です。保護者の方がお子さんの命を守るために、繰り返し伝えてくださったおかげだと思います。また、登降園の際に、保護者とお子さんで交通ルールについて確認をしながら歩く姿や、教えてもらったことを園外散歩で実行する姿が見られました。継続することで、身に付きいざというときに対応する力になります。

夏休み中も、感染症対策、交通安全など命を守るためにどのようにしたらよいか、お子さんと一緒に考え、実行してください。また、家族で我が家のおだわらっ子の約束を決めて取り組むのも良いと思います。

第一学期の温かいご理解とご協力に感謝いたします。お子さんと一緒に、心が豊かになる夏休みをお過ごしください。